

## G3フェアリーS

### <最終見解>

昨年未から、中山芝は馬場の作り方と天候の相乗効果で例年以上にスピードが発揮できる馬場。

土曜も同コースで行われた若駒限定のジュニア C は 1 分 32 秒台。1-4 番ゲートが 1-4 着を独占。スプリント指向のレースでした。

本命はマスクオールウイン。

父は米国型のドレフォン。  
母父は昨年未絶好調だったハーツクライ。  
スプリント戦でキャリアを積んできた馬。  
内枠も今の馬場傾向では有利。

相手妙味も内枠。  
ラヴスコールは、ハーツクライ同様、今の路盤が走りやすいドゥラメンテ。

母父がスプリント戦で注目のインリアリティ系。

メイショウヨゾラは土曜の同コースでも人気以上に走ったグレーターロンドン産駒。  
近親も短距離の上級クラスで走った馬が複数。